令和８年度 第２回本明川学識者懇談会 議事要旨

■日時：令和８年１０月５日（月）１４：００～１５：１０
■場所：諫早商工会議所　大会議室Ａ
■議事：本明川総合水系環境整備事業（事業再評価）

【出席者】
委 員：夛田委員長、川内委員、佐藤委員、千々布委員、深川委員、松尾委員
長崎河川国道事務所：上田事務所長、西山副所長、梅田流域治水課長、塩塚専門官、
倉上技官

【結論】
本明総合水系環境整備事業については、「改善継続」で了承。

【要旨】 ◆：委員 ●：事務局

１，天満・永昌地区（継続箇所）
◆天満・永昌地区については利用者数の推移から十分な効果があったと考えられる。

◆駅前公園広場の利用状況は如何か。
●自治会による魚のつかみ取り大会やミュージックリバッパ等が定例イベントとして開催されているほか、通常利用として散策・ボール遊び・スケートボードなどの利用が見られる。今後もさらなる利用促進を目指し、積極的なＰＲ活動に努める予定である。

２，深海地区（新規箇所）
◆本事業に関する長崎県の関わりは如何か。
●費用負担のほか、深海地区かわまちづくり協議会及び検討部会のメンバーとしてご意見を頂くなど、事業に参画頂いている。

◆維持管理（除草）については如何か
◆深海地区の池にどのような生物が生息しているのか利用者は興味があると思われる。また環境学習の場としても利用出来るのではないか。
●具体的な内容は引き続き協議会及び検討部会にて協議・検討を行います。

◆深海地区にはヨシ原があるが、これらは保全されるのか。
◆シチメンンソウやハママツナなどが他地域で見られたが、これらを復活させるような取

組が出来ないか。

◆手つかずの自然が干陸地には残っていると思われ、そう行った場所はこれからも保全して頂きたい。

●深海地区のヨシ原については整備することで減少する可能性があるが、他地域の広大な干陸地には生育している状況。今後、自然再生計画を策定する予定であり、本明川全体ではヨシ原を増加させるような計画を考えている。また、シチメンソウやハママツナなどの貴重種や干陸地の保全などのご意見も自然再生計画策定の参考にさせていただきたい。

◆コスト縮減の方策については、安全性にも配慮された工法選定をお願いしたい。

●承知しました。